



悪い



良い

地域福祉に関するアンケート

【以下の各項目について、令和5年10月1日現在の状況でお答えください。】

選択式の回答は、該当箇所のマークを塗りつぶしてご回答ください。

☐: 空白マーク ☒: 正しいぬりつぶし ☐: 不十分なぬりつぶし

記述式の回答は、回答欄からはみ出さないようにご記入ください。

この用紙は機械で処理します。回答欄以外に書き込みをしたり、用紙を汚したりしないようにご注意ください。また、ご記入はHB以上の濃さの黒鉛筆か、黒または青のボールペン・サインペンでお願いします。

(1) あなたの性別について、お聞かせください。（1つを選択）

☐ 男

☐ 女

☐ その他、答えたくない

(2) あなたの年齢について、お聞かせください。（1つを選択）

☐ 18歳～19歳

☐ 20歳～29歳

☐ 30歳～39歳

☐ 40歳～49歳

☐ 50歳～59歳

☐ 60歳～64歳

☐ 65歳～69歳

☐ 70歳～74歳

☐ 75歳～

(3) あなたと同居する家族の構成について、お聞かせください。（1つを選択）

☐ 単身

☐ 夫婦（子どもはいない）

☐ 親子（高齢者と子の2世代）

☐ 親子（親と子の2世代）

☐ 親、子、孫（3世代）

☐ その他（具体的に：
）

(4) あなた自身、もしくはあなたと同居する方に、次のような方はいますか。（あてはまるもの全てを選択）

☐ 小学校入学前の子ども

☐ 小学生～高校生の子ども

☐ 日常生活を送る上で介護や介助等の身体的ケアを必要とする方

☐ 日常生活を送る上で介護や介助等の身体的ケア以外の精神的ケアを必要とする方

☐ 「ひきこもり、不登校」の状態にある方

☐ 15歳～59歳で仕事、家事、通学のいずれもしていない方

☐ 65歳～74歳の方

☐ 75歳以上の方

☐ 該当なし

※「精神的ケア」とは、この設問では気分の落ち込みや幻覚、妄想等の心身に様々な影響が出る疾患として、うつ病や双極性障害、統合失調症をはじめ、生まれつきの脳機能の偏りによる発達障害等に対するケアのことをいいます。

(5) あなたの働き方について、お聞かせください。（1つを選択）

☐ 正規雇用

☐ 非正規雇用（パート、アルバイト、契約社員）

☐ フリーランス

☐ 自営業（商業、工業、農業等）

☐ 主婦、主夫

☐ 無職

☐ 学生

☐ その他（
）



悪い



良い

(6) 現在お住まいの地域での居住年数について、お聞かせください。（1つを選択）

- ☐ 生まれてからずっと（年数にかかわらず）
☐ 21年以上
☐ 14年～21年未満
☐ 10年～14年未満
☐ 6年～10年未満
☐ 3～6年未満
☐ 3年未満

(7) あなたの現在のお住まいは、どれにあたりますか。（1つを選択）

- ☐ 一戸建ての持ち家
☐ 一戸建て以外の持ち家（分譲マンション・団地住宅等）
☐ 公営（市営、都営、公社、UR）の賃貸住宅
☐ 一戸建ての民間借家
☐ 民間の賃貸アパート、マンション
☐ 社宅、会社寮、公務員住宅
☐ その他（ ）

(8) あなたのお住まいの地区について、お聞かせください。（1つを選択）

- ☐ 富士見町
☐ 柴崎町
☐ 錦町
☐ 羽衣町
☐ 曙町
☐ 高松町
☐ 緑町
☐ 泉町
☐ 栄町
☐ 若葉町
☐ 幸町
☐ 柏町
☐ 砂川町
☐ 上砂町
☐ 一番町
☐ 西砂町

(9) あなたは立川市やお住まいの地域の生活に満足していますか。（1つを選択）

- ☐ 満足している
☐ どちらかといえば満足している
☐ どちらかといえば満足していない
☐ 満足していない

(10) (9)で「満足している」、「どちらかといえば満足している」と回答した方にお聞きします。そう思った理由をお聞かせください。（あてはまるもの全てを選択）

- ☐ 子どもや高齢者の声かけ、見守りが行われているため
☐ 高齢者や子育て世代等のサロンや趣味等のサークル活動が行われているため
☐ 福祉の心を育てる活動が行われているため
☐ 世代間の交流が行われているため
☐ 障害者やその家族と地域住民の理解を深める交流活動が行われているため
☐ 防犯活動が行われているため
☐ 災害時に助けあう関係づくりが行われているため
☐ 多様な住民が参加しやすい場、拠点づくりが行われているため
☐ 困りごとの手伝いが行われているため
☐ 多文化共生に関する取組が行われているため
☐ 中学生、高校生自らが企画する地域活動が行われているため
☐ 地域活動、ボランティア活動等に関する情報発信が行われているため
☐ ペットとの共生に関する取組が行われているため
☐ わからない

※「サロン」とは、近所の人々等が定期的集まって、おしゃべりや趣味の活動をする場です。



悪い



良い

(11) (9)で「満足していない」、「どちらかといえば満足していない」と回答した方にお聞きます。そう思った理由をお聞かせください。（あてはまるもの全てを選択）

- | | |
|--|---|
| ☐ 子どもや高齢者の声かけ、見守りが行われていないため | ☐ 高齢者や子育て世代等のサロンや趣味等のサークル活動が行われていないため |
| ☐ 福祉の心を育てる活動が行われていないため | ☐ 世代間の交流が行われていないため |
| ☐ 障害者やその家族と地域住民の理解を深める交流活動が行われていないため | ☐ 防犯活動が行われていないため |
| ☐ 災害時に助けあう関係づくりが行われていないため | ☐ 多様な住民が参加しやすい場、拠点づくりが行われていないため |
| ☐ 困りごとの手伝いが行われていないため | ☐ 多文化共生に関する取組が行われていないため |
| ☐ 中学生、高校生自らが企画する地域活動が行われていないため | ☐ 地域活動、ボランティア活動等に関する情報発信が行われていないため |
| ☐ ペットとの共生に関する取組が行われていないため | ☐ わからない |

(12) あなたは外出したいと思っても、困りごとがあるために諦めたことがありますか。（1つを選択）

- | | |
|--------------------------|--------------------------|
| ☐ ある | ☐ ない |
|--------------------------|--------------------------|

(13) (12)で「ある」と回答した方にお聞きます。外出を諦めたのはどのような理由でしたか。（あてはまるもの全てを選択）

- | | |
|--|---|
| ☐ ベビーベッド、ベビーチェアや車いす利用者がいるため | ☐ 対応トイレが少ないため |
| ☐ 目的地までの移動手段がないため | ☐ 階段等の段差が多く移動が難しいため |
| ☐ ベンチや公園等ひと休みできる場所が少ないため | ☐ 費用がかかり負担となるため |
| ☐ 気軽にでかけることができる場所、機会、きっかけがないため | ☐ 特にない |
| ☐ その他（ ） | |

(14) 日頃、市内を移動するときに最も利用する交通手段はなんですか。（1つを選択）

- | | | |
|--|--------------------------------|-------------------------------------|
| ☐ 徒歩 | ☐ 自転車、バイク | ☐ 自家用車（自分で運転する） |
| ☐ 自家用車（家族または友人の車に乗せてもらう） | ☐ タクシー | ☐ バス |
| ☐ くるりんバス | ☐ 電車、モノレール | ☐ 福祉移送サービス |
| ☐ その他（ ） | | |

(15) (14)で回答した交通手段の利用頻度について、お聞かせください。（1つを選択）

- | | | |
|------------------------------|---------------------------------|------------------------------|
| ☐ ほとんど毎日 | ☐ 週に3～4日 | ☐ 週に1～2日 |
| ☐ 月に数回 | ☐ ほとんど外出しない | |



(16) 日頃、市内を移動するときに 2 番目によく利用する交通手段はなんですか。（1 つを選択）

- ☐ 徒歩
 ☐ 自転車、バイク
 ☐ 自家用車（自分で運転する）
- ☐ 自家用車（家族または友人の車に乗せてもらう）
 ☐ タクシー
 ☐ バス
- ☐ くるりんバス
 ☐ 電車、モノレール
 ☐ 福祉移送サービス
- ☐ その他（ ）

(17) (16) で回答した交通手段の利用頻度について、お聞かせください。（1 つを選択）

- ☐ ほとんど毎日
 ☐ 週に 3～4 日
 ☐ 週に 1～2 日
- ☐ 月に数回
 ☐ ほとんど外出しない

(18) 日頃、市内を移動するときに 3 番目によく利用する交通手段はなんですか。（1 つを選択）

- ☐ 徒歩
 ☐ 自転車、バイク
 ☐ 自家用車（自分で運転する）
- ☐ 自家用車（家族または友人の車に乗せてもらう）
 ☐ タクシー
 ☐ バス
- ☐ くるりんバス
 ☐ 電車、モノレール
 ☐ 福祉移送サービス
- ☐ その他（ ）

(19) (18) で回答した交通手段の利用頻度についてお聞かせください。（1 つを選択）

- ☐ ほとんど毎日
 ☐ 週に 3～4 日
 ☐ 週に 1～2 日
- ☐ 月に数回
 ☐ ほとんど外出しない

(20) 外出の目的として、最も頻度が高いものはなんですか。（1 つを選択）

- ☐ 買い物
 ☐ 通院
 ☐ 家族、友人との交流
- ☐ 趣味
 ☐ 仕事
 ☐ 健康、スポーツ
- ☐ 地域活動、ボランティア
 ☐ 行政手続
 ☐ その他（ ）

(21) (20) で回答した目的の頻度にどのくらいですか。（1 つを選択）

- ☐ ほとんど毎日
 ☐ 週に 3～4 日
 ☐ 週に 1～2 日
- ☐ 月に数回
 ☐ ほとんど外出しない

(22) 外出の目的として、2 番目に頻度が高いものはなんですか。（1 つを選択）

- ☐ 買い物
 ☐ 通院
 ☐ 家族、友人との交流
- ☐ 趣味
 ☐ 仕事
 ☐ 健康、スポーツ
- ☐ 地域活動、ボランティア
 ☐ 行政手続
 ☐ その他（ ）



悪い



良い

(23) (22) で回答した目的の頻度にどのくらいですか。(1つを選択)

- ☐ ほとんど毎日 ☐ 週に3～4日 ☐ 週に1～2日
☐ 月に数回 ☐ ほとんど外出しない

(24) 外出の目的として、3番目に頻度が高いものはなんですか。(1つを選択)

- ☐ 買い物 ☐ 通院 ☐ 家族、友人との交流
☐ 趣味 ☐ 仕事 ☐ 健康、スポーツ
☐ 地域活動、ボランティア ☐ 行政手続 ☐ その他 ()

(25) (24) で回答した目的の頻度にどのくらいですか。(1つを選択)

- ☐ ほとんど毎日 ☐ 週に3～4日 ☐ 週に1～2日
☐ 月に数回 ☐ ほとんど外出しない

(26) あなたが「お住まいの地域」として考えるのは、どのくらいの範囲ですか。(1つを選択)

- ☐ 両隣(徒歩1分程度) ☐ 隣近所(徒歩5分程度) ☐ 丁目(徒歩15分程度)
☐ 町(徒歩30分程度) ☐ 立川市全域 ☐ 近隣市程度

(27) 「お住まいの地域」の中での付き合いはどの程度ですか。(1つを選択)

- ☐ 親しい交流がある ☐ 世間話をするぐらいの交流がある
☐ 顔を会わせれば挨拶する ☐ 交流はないが顔を見れば地域に住んでいる人だと分かる
☐ ほとんど顔を知らない

(28) 「お住まいの地域」の方が生活上の困りごとを抱えていることが分かった場合、あなたはどのように考えますか。(1つを選択)

- ☐ 手伝う ⇒質問29へ ☐ 報酬や対価があれば手伝う ⇒質問30へ
☐ 手伝いたいと思うが事情があって手伝うことが難しい ☐ 手伝いたいと思わないので、手伝わない
☐ ⇒質問31へ

(29) (28) で「手伝う」と回答した方にお聞きます。次のような困りごとのうち手伝える範囲について、お聞かせください。(あてはまるもの全てを選択)

- ☐ 声かけ、見守り ☐ 話し相手
☐ 買い物代行 ☐ 家事手伝い
☐ 家具の移動や設置 ☐ 外出や各種手続きの同行
☐ その他 ()



悪い



良い

(33) あなた自身、もしくはあなたと同居する方が生活上の困りごとを抱えた場合、解決に関する情報はどこから得ますか（得ようと思いますか。）。（あてはまるもの全てを選択）

- | | |
|---|---|
| ☐ 市報（広報たちかわ）や社会福祉協議会広報（あいあい通信、まちねっと） | ☐ 市、社会福祉協議会のホームページ |
| ☐ 市、社会福祉協議会のSNS | ☐ テレビ、ラジオ、新聞等のマスメディア |
| ☐ 身近な人からの口コミ情報 | ☐ インターネット情報（市、社会福祉協議会以外） |
| ☐ 市役所の各種窓口 | |

※SNS（ソーシャル・ネットワーキング・サービス）とは、インターネット上で友人同士や同じ趣味を持つ人同士が集まったり、近隣住民が集まったりと情報の発信や共有、ユーザー同士の交流ができるサービスです。例えば、X（旧Twitter）、LINE、Facebook、YouTube、Instagram等を指します。

(34) 生活上の困りごとを抱える人を支援するために、あなたが必要と思うものはなんですか。（あてはまるもの全てを選択）

- | | |
|---|---|
| ☐ 日頃からの家族、親族とのコミュニケーション | ☐ 地域の人たちとのつながりづくりや地域の人たちの理解と協力 |
| ☐ NPOや市民活動団体、ボランティアによる福祉活動 | ☐ 同じような境遇の人同士でのつながりづくり |
| ☐ 困りごとを予防するための取組 | ☐ 困りごとを抱える人を早期に発見する仕組みづくり |
| ☐ なんでも相談できる窓口の設置 | ☐ 課題に対応できる専門機関の情報発信 |
| ☐ 専門機関同士の連携強化 | ☐ 福祉人材を育成する仕組みづくり |

(35) 地震や風水害が発生したとき、その被害を広めないために地域で日頃から取り組んでおくこととしてあなたができることはなんですか。（あてはまるもの全てを選択）

- | | |
|---|---|
| ☐ 防災訓練、避難訓練への参加 | ☐ 災害時要援護者（※）との顔の見える関係づくり |
| ☐ 災害時要援護者の個別支援計画への参画 | ☐ 地域での防災マップづくり |
| ☐ 災害ボランティア養成講座への参加 | ☐ 市民防災組織への参加 |
| ☐ 避難所運営委員会（※）への参加 | |

※「災害時要援護者」とは、高齢者や障害者、乳幼児、傷病者、外国人等、災害時に自力で避難することが困難であり、なんらかの手助けが必要な人をいいます。

※「避難所運営委員会」とは、事前に避難所となる施設を中心に、自治会、自主防災組織等が一体となって設立し、災害発生時に地域住民同士が連携しながら、主体として避難所を開設、運営できるよう体制を整えておく組織をいいます。



悪い



良い

(36) 地域で発生する課題の中には、行政のみの対応や既存の制度による専門的な対応だけでは解決できない課題が数多くあります。次のような課題や取組の中で、住民や地域団体が主体となって取り組むほうがより効果的であると思うものはなんですか。（あてはまるもの全てを選択）

- | | |
|--|--|
| ☐ 住民の健康づくり | ☐ サロン、サークル等の交流の場づくり |
| ☐ 地域福祉アンテナショップ（※）への参加 | ☐ 子どもや高齢者への声かけ、見守り |
| ☐ 高齢者、障害者等の病院の付き添い | ☐ 障害者の外出支援 |
| ☐ 外国人への情報提供 | ☐ 罪を犯した方の社会復帰支援 |
| ☐ ひきこもり当事者やその家族の支援 | ☐ ケアラー（※）支援 |
| ☐ 災害時要援護者への支援体制づくり | ☐ 防災訓練、避難訓練 |
| ☐ 子どもの学習支援 | ☐ 子ども食堂（※） |
| ☐ フードバンク（※） | ☐ 市民後見人（※）としての活動 |

※「ケアラー」とは、高齢、障害、病気等により援助を必要とする家族や身近な人に対して、無償で介護や看護、日常生活上のお世話をしている方のことをいいます。

※「子ども食堂」とは、貧困や家庭の事情で、満足に食事がとれなかったり、一人で食事をしたりする子どもたちに、無料や低額で食事を提供する取組です。

※「フードバンク」とは、食品企業の製造工程で発生する規格外品等を企業から寄付いただき、福祉施設や福祉団体、困窮世帯等へ無料で提供する活動です。

※「地域福祉アンテナショップ」とは、誰もが気軽にふらっと立ち寄れる居場所です。地域の空きスペース等を活用し、住民主体で運営されており、令和5年4月時点で市内に12か所設置されています。子どもの遊び場や健康相談、各種ワークショップ、テーマに沿った茶話会等、それぞれの特色を生かした活動が行われています。市と住民、関係機関が協働して、子どもから高齢者までのさまざまな困りごとの解決を目指します。

※「市民後見人」とは、一般市民の方で市町村が実施する養成講座を受講し、成年後見に関する一定の知識、態度を身につけた方の中から、家庭裁判所により成年後見人等として専任されます。市民目線で、ご本人の意思を丁寧に把握し、地域に密着した活動を行うことが期待されています。

(37) 今後、立川市をより住みやすいまちにするために、次のうち何を重点的に取り組むべきだと思いますか。（あてはまるもの全てを選択）

- | | |
|---|--|
| ☐ 生活課題の早期発見 | ☐ 福祉サービスの質の向上 |
| ☐ 相談体制の充実 | ☐ 高齢者、障害者等が金銭や契約等で不利益を被らないよう支援をする取組 |
| ☐ 高齢者、障害者、児童への虐待防止 | ☐ 支援が必要な人に必要な情報が届く仕組みづくり |
| ☐ 多世代交流、障害者、外国人等との交流等の多様な市民の交流 | ☐ 住民同士、住民と専門職等の関係づくりによる地域のネットワーク化 |
| ☐ 地域での支えあい | ☐ NPO、ボランティア、市民活動の活性化 |
| ☐ 地域活動デビューへの支援 | ☐ 地域で活躍するリーダー等の人材の発掘、育成 |
| ☐ 心のバリアフリーの推進 | ☐ 道路、建物等のバリアフリー化推進 |
| ☐ 防犯、防災への取組 | ☐ 住民等が交流する場所、拠点づくり |
| ☐ 快適な生活環境への取組（ごみ出し、喫煙、自転車のマナーアップ等） | ☐ 生活困窮者に対して行う生活支援や就労支援 |
| ☐ なんでも相談できる相談窓口の設置 | ☐ 学習支援や子ども食堂等地域での子どもの居場所づくり |



(38) あなたの地域をよりよくするにはどうしたらよいか等、地域の福祉についてアイデアやご提案、ご意見がありましたら、ご自由にお書きください。

(39) 今後、立川市はどんなまちになってほしいと思いますか。あなたが考えるキャッチフレーズを教えてください。

アンケートにご協力いただき、ありがとうございました。

同封の封筒に入れ、11月15日（水）までに切手を貼らずにポストへ投函してください。